



▲鏡開きをする来賓と関係者



1/16

村に訪れた新春を祝う

# 平成23年「新春村民のつどい」

▲出席者による乾杯



▲大内哲飯館ライオンズクラブ会長から寄付を受ける小山茂社会福祉協議会長



▲JAもち部会による餅つき



▲村民憲章唱和を進める児童代表の高橋優人くん  
▶飯館中学校吹奏楽部によるオープニング演奏



今回で26年目を迎える「新春村民のつどい」が村公民館で開かれ、村内外から170人が出席し村の新春を祝いました。飯館中学校吹奏学部による演奏「川の流れのよう」で幕を開けた今回のつどいでは、いいたておかあさんコーラスによる村民歌の歌唱や村の小学生代表児童による村民憲章唱和、村の10大ニュース発表といった恒例行事に加え、古今亭志ん輔さんによる新春落語「子は鏡（かすがい）」や村が新たに創設した「まてい大使」への委嘱状交付式などが行われました。

主催者あいさつでは「村のため先輩が頑張ってきたことを、わたしたちが引き継いで次の世代につなげていかなければならない。全村民が力を合わせていきましょう。」といった村づくり推進協議会長菅野村長があいさつし、続いて副会長の八巻誠JAそうま飯館地区担当理事、長谷川長喜飯館村商工会長、相良弘飯館村森林組合代表理事組合長がそれぞれあいさつしました。

また、新春パーティーの席上では佐藤長平村議会議長らが祝辞を述べ、村の新春をともに祝ったほか、来賓と関係者による鏡開き、飯館ライオンズクラブから村社会福祉協議会へ会場で行ったチャリティーバザー売上金の寄付、特産品「あぶくまもち」のお披露目を兼ねたJAもち部会による餅つきなどが行われました。

テーブルには、愚心会による打ちたてのそばやつきたてのお餅などが並び、出席者はおいしい料理に舌鼓を打ちながら和やかなひとときを過ごしました。



▲会場を笑い感動の渦に巻き込んだ古今亭志ん輔さんの新春落語  
▲村民歌など3曲を歌ったおかあさんコーラスのみなさん